

企業会計基準委員会の最近の活動状況

前回基準諮問会議（第16回、2012年11月8日開催）後の当委員会の活動状況は次のとおりである。

．国内基準の開発・整備に係る活動

1. 会計基準等の公表

(1) 会計基準等

2013年1月11日に企業会計基準公開草案第49号（企業会計基準第21号の改正案）「企業結合に関する会計基準（案）」及び関連する他の会計基準等の改正案を公表した。改正案の概要は、資料(13-2)のとおりである。

(2) その他

2013年2月22日に「中小企業の会計に関する指針（平成24年版）」を、日本公認会計士協会、日本税理士会連合会及び日本商工会議所とともに公表した。これは、当委員会、日本公認会計士協会、日本税理士会連合会及び日本商工会議所が主体となって設置している「中小企業の会計に関する指針作成検討委員会」により、「非上場会社の会計基準に関する懇談会 報告書」（平成23年8月）及び「中小企業の会計に関する研究会 中間報告書」（平成23年9月）の提言内容を踏まえて、記載内容を平易な表現に改める等、経営者にとって利用しやすいものとするを目的として見直したものである。

2. 会計基準の開発の状況

(1) 会計基準

無形資産

無形資産については、2012年8月の参考人質疑を受けて「企業結合時における無形資産の識別」の論点と、「個別に取得した仕掛中の研究開発」の論点に絞って、実務上のニーズとコストをより詳細に把握したうえでさらに検討を行っていくために、2012年9月から12月にかけて市場関係者（財務諸表作成者11社、利用者9名、監査法人3法人、評価機関3社）に対して現行実務に関するヒアリングを実施した。

現在は、ヒアリングで聞かれた主なベネフィットとコストを分析して比較考量している段階であり、こ

の検討結果を踏まえ、関係する会計基準の改正の要否を判断していく予定である。

連結

連結については、検討が長期間にわたっていることから、今後の会計基準の開発に向けた検討に資するよう、我が国において仮に IFRS 第 10 号の支配の考え方を取り入れた場合に生じる論点を、設例を交えた現在までの検討状況を「特別目的会社の連結等に関する会計基準の検討状況」として、中間的な取りまとめを行っているところである。

その他の IASB で審議中のプロジェクト

金融商品、収益認識、リース、保険等について、IASB の審議内容の分析を行い、適宜、IASB 等に意見発信を行っている。

(2) 実務対応専門委員会

実務対応レベルの論点の検討

「信託を利用した従業員への自社の株式の付与スキーム」について検討中である。

テーマ提言のための評価（基準諮問会議からの依頼）

次のテーマの候補について、テーマアップに関する評価のために専門委員会を 3 回開催した。

- 監査委員会報告第 66 号の見直し
- 実務対応報告第 18 号の見直し要否の検討
- 早期割増退職金
- 連結納税制度と企業結合会計における税効果の整合性
- 種類株式の連結上の会計処理
- 現物分配の受取側の会計処理の明確化
- 実質リース

． 国際的な意見発信

1 IASB 及び FASB との定期協議

FASBとの定期協議を2013年3月4日、5日にノーウォークで開催し、以下に関する議論を行った。

- IASBが検討中の概念フレームワーク（構成要素、認識・認識の中止、測定、表示と開示）
- FASBがIASBと共同で審議を行っている個別のプロジェクト（金融商品（分類と測定、減損）、リース）
- FASBが2012年7月に公表した開示フレームワークの意見募集

2 AOSSG の年次総会への参加

AOSSG（アジア・オセアニア会計基準設定主体グループ）の年次総会が2012年11月27日から29日にカトマンズ（ネパール）において開催され、当委員会も同会議に出席した。

3 会計基準アドバイザー・フォーラムへの参加の応募

2011年11月1日にIFRS財団から、「Proposal to Establish an Accounting Standards Advisory Forum」が公表され、2012年12月17日を期限として意見募集が行われた。会計基準アドバイザー・フォーラムは、国際的に認められる高品質の会計基準の開発というIASBの目標の達成に向けて、各国及び各地域の会計基準設定主体は建設的な貢献を行うことを目的に設置される。

ASBJは、当アドバイザー・フォーラムの参加の応募を行っている（参考：資料(13-3)）

4 コメント・レターの提出

前回の基準諮問会議の後、IASB及びFASBの公開草案等に対する下記のコメント・レターを提出した。

- FASB コメント募集「開示フレームワーク」に対するコメント（2012年11月30日提出）
- IFRS財団コメント募集「会計基準アドバイザー・フォーラム設置の提案」に対するコメント（2012年12月17日提出）
- IASB 公開草案「IFRSの年次改善2011-2013年サイクル」に対するコメント（2013年2月15日提出）
- 欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）ディスカッション・ペーパー「注記に対する開示フレームワークに向けて」に対するコメント（2013年1月18日提出）

． 国際的な会計基準の開発への貢献に関する活動

IASB の円卓会議等へのサポート

前回の基準諮問会議の後、2013 年 1 月 25 日に、金融商品プロジェクト（分類・測定）に関するアウトリーチが IFRS 財団アジア・オセアニアオフィスで開催され、当委員会はサポートを行っている。

． その他

前回の基準諮問会議の後に開催したセミナー等は次のとおりである。

1. ASBJ オープン・セミナー

ASBJ における会計基準開発と「IFRS の最新動向」を含む会計基準を巡る国際動向に関するオープン・セミナーを開催した（東京（2月21日）、福岡（2月22日）、大阪（2月25日）、名古屋（2月26日）、札幌（3月8日））。

2. 市場関係者との意見交換

東京地区での関係諸団体との定期的な意見交換に加え、各地の証券取引所、経済界、監査人等とのコミュニケーションを幅広く行う一環として、ASBJ オープン・セミナーの開催に合わせて、当委員会の会計基準開発等の活動状況について福岡、大阪及び札幌で地域の監査人や証券取引所関係者との意見交換会を行うとともに、名古屋において経済界との意見交換を行った。

以 上